

職員と生徒とで行う校内研修

詳しくは、[Instagram](#)で

1月28日に、熊本大学准教授の**苫野一徳准教授**をお招きし、校内研修として「**本質観取**」に取り組みました。本質観取とは、物事の本質を言葉にしていく営みのことです。苫野先生は、全国的に著名な先生でお忙しいなか時間をとっていただき、貴重な研修時間となりました。

本校の研究では、対話活動に力を入れています。さらに、生徒の主体性育成が学校教育目標の柱です。今回は、この2点の視点から、研究部と特別活動部の職員が協議し、「**生徒が主体的に活動するために、教師と生徒とが腹をわって話し合うことが大切**」だという考えから、教師と生徒とが参加する校内研修を初めて実施したものです。校長としては、このような**考え方が浸透していることを心強く思っています**。

生徒会執行部・各課長と職員とが同じグループになり、「より良い生徒会活動とは？」というテーマで本質観取を行いました。生徒も職員も、同じ立場で活発に考えを交流し合うことができた貴重な時間でした。

最終的に全体でまとめた「**よりよい生徒会活動とは...**」
①**共通の明確な目的を持ち**、②**参加的・双方向的・自分事的で**、③**活動行動が連鎖していく**、**教師がサポートする生徒主体の活動**である。

これからも、さらに生徒が主体となる学校を実現していきます！



ChariChari 家本賢太郎 社長のメッセージ

1月29日に、レンタサイクルでおなじみ**ChariChari社長の家本賢太郎氏**をお招きして、3年生の学年社会の授業を行いました。3年社会科担当職員の熱いラブコールに応じていただき、実現した授業です。

3年生に向けて、1時間のお話、その後20分間の質疑応答と、とても中身が濃い熱いお話をしていただきました。生徒たちにもしっかり響いた内容だったと思いますが、私自身にもピンピン響いた貴重な時間でした。

私の学校経営方針の一つに「**ホンモノに触れさせる**」があります。

本日の**家本社長のお話は、まさに「ホンモノ」**。3年生だけでなく、1, 2年生にも聞かせたい内容でした。

特に、社長からのメッセージ、「**あなたのおもいを熱量をもって伝えよう**」は、私も共感した、**全生徒に伝えたい大切な内容**です！

あなたのおもいを
熱量をもって伝えよう

本は、作家さんが何かを伝えたかったから活字になっています。

文字にして、そこに熱量を加えると、

人を動かすチカラになります。



課題発見 x 社会実装

みんなが困っていることを見つける力。
なくてはならないことは何なのか。
それらを解決するために、どのようにすれば実現できるか。
そして、最後までやり抜く実行力。

さあ、好きなことをしよう

今すぐ好きなことを見つけよう、ということではありません。
たくさん人の話を聞いたり本を読んだりするなかで、
いつか「自分はこれが好きなんだな」って気づくときがきます
あなたが、時間を忘れるほど熱中すること、なんですか？